



世界遺産田島弥平旧宅



伊勢崎市長

ひじ やすお
臂 泰雄

誰一人取り残さない、誰でも活躍できる多文化共生のまちいせさき



群馬県
伊勢崎市
ISESAKI CITY

市の特徴

多文化共生

多国籍の外国人住民が集まるまち

- ・外国人人口が増え続けており、令和5年11月には**15,000人を超え、過去最多を更新している**
- ・**60か国以上**の外国人住民が住む、多文化共生のまち



歴史

織物で発展してきた産業のまち

- ・明治以降、「伊勢崎銘仙」が全国的に有名になり、**織物のまち**として発展
- ・繊維産業で培った製造技術を生かし、**機械器具製造業へと柔軟に移行し、飛躍的に発展**



2030年のあるべき姿

今後取り組む課題

外国人材が活躍できる雇用の創出

- 産業の優位性の維持には、外国人材が活躍できる場、環境が必要
- 就労しやすい環境づくりが必要

言葉の壁をなくすための取組

- 誰一人取り残さないよう、行政サービスを行き届けることが必要
- 地域内のコミュニケーションが必要

生活者としての外国人への取組

- 生活をするうえで必要な生活ルールの知識が必要
- 災害に備えられる環境が必要

2030年のあるべき姿

誰一人取り残さないために、日本人・外国人ともにお互いに理解し協力しあい、また誰もが活躍し、安心・安全に暮らせる多文化共生のまちづくりを目指す

経済

国籍に関わらず、
誰もが活躍できる
共生のまちづくり

社会

お互いの文化・生活を
理解し、安心して生活できる
多文化共生のまちづくり

環境

生活者としての
外国人が安心・安全に
暮らせるまちづくり

自治体SDGsモデル事業の概要

多文化共生の拠点創出事業

- ◆多文化共生の拠点の創出
- ◆生活ルールへの支援の充実

日本語支援

通訳・翻訳支援

多文化理解への支援

【外国人向け支援】

言葉の壁

経済

就労の支援

- ◆外国人の就労環境の充実
- ◆外国人が活躍できる環境づくり



社会

共生・生活の支援

- ◆お互いを尊重する社会の実現
- ◆災害レジリエンスの向上



環境

地域・環境への取組

- ◆いせさきGXの推進
- ◆エネルギーの地産地消の推進



日本語や生活習慣についての主体的な理解を促進し、
本事業をもとに他事業に展開していくことで事業効果が高まり、全体計画の効果的な実現につなげる



就労の支援

外国人向け就労セミナー等の開催

- ◆ 外国人の再就職や企業等とのマッチングを支援
- ◆ ハローワーク、商工会議所、農業協同組合等と連携した企業向けセミナー等を開催



就労支援

- ◆ ハローワーク、商工会議所等と連携した就労支援を実施
- ◆ 就職活動支援セミナー等を通じて、応募書類の作成や面接対策の支援



日本語教室の拡充

- ◆ 日本語教室の開催形態等を見直しを行い、ニーズに対応した運営を行うなど、日本語を学ぶ機会を拡充



出張日本語教室の開催

- ◆ 企業・個人事業主と連携し、雇用形態に合わせた出張日本語教室を開催
- ◆ 企業が外国人従業員に生活のルールを教えていけるような取組を推進



就業者数の向上

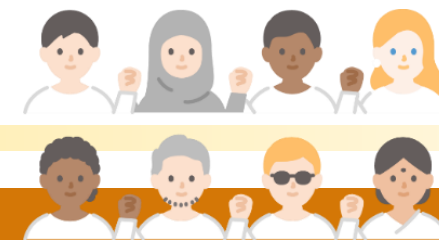
人材不足の解消

生活水準の向上

日本語能力の向上

モデル事業の三側面の取組

社 会



共生・生活の支援

多文化共生イベントなどの開催

- ◆ イベントや講座など、お互いの文化に触れ、理解する機会を充実



外国人総合相談窓口の充実

- ◆ 急増している国籍に対応するなど、状況に応じて相談員・通訳・対応言語の増減を行い、体制を強化



子育て、教育、高齢化などへの支援

- ◆ 通訳の配置だけでなく、翻訳対応ディスプレイを有効利用し、子育て・教育・高齢者支援などのさまざまな相談への対応を強化



災害時外国人支援ボランティアの充実

- ◆ 災害時外国人支援ボランティアの研修を充実
- ◆ 多言語をカバーできるようボランティアを勧誘・育成



多文化交流の向上

外国人の生活への
不安の解消

災害時の対応力の
向上

モデル事業の三側面の取組

環境



温室効果ガス削減に向けた取組

いせさきGXの取組

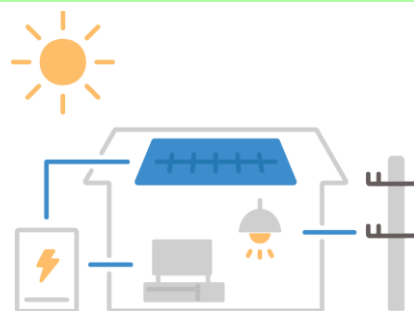
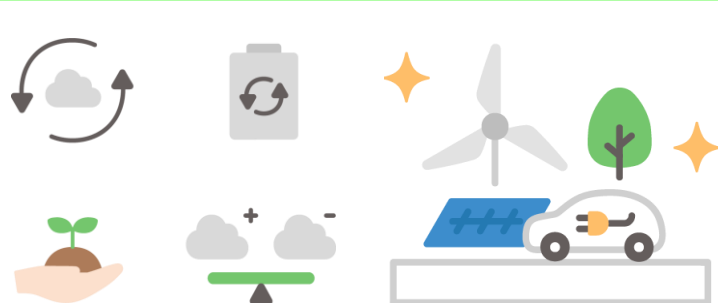
- ◆市が進めるすべての施策に環境配慮がなされている状態とすることを目指す市独自の「いせさきGX」の取組を多文化共生に導入

家庭用脱炭素化設備導入補助金

- ◆ 温室効果ガス排出量の削減のため、家庭での脱炭素化設備の導入を促進
- ◆ 家庭における再生可能エネルギーの活用を促進

ごみなどの生活ルールの周知徹底

- ◆外国人向けに定期開催している「ごみの分け方・出し方」をテーマにした生活オリエンテーションの開催地や開催回数を拡充
- ◆5言語で作成している「生活ガイドブック」をさまざまな機会配布し、SNS等での情報発信を行い、周知を徹底



温室効果ガス削減

再生可能エネルギーの
利用促進

市民の脱炭素化意識の
醸成

ごみの減量
地域トラブルの減少

三側面をつなぐ統合的取組

多文化共生の拠点創出事業

外国人に対して包括的に支援を行うための多文化共生の拠点を創出

➡ 多文化共生の拠点を新たに創出し、現在行っている多文化共生に関する事業を一局集中させることにより、多文化共生の拠点として定着させ、様々な事業を展開していく

- 外国人相談窓口（通訳を常時配置し、翻訳機能付きの機器を導入）
- 外国人同士のコミュニケーションの場
- 日本語教室
- 就労セミナー
- 各国独自の講座



生活ルールの動画作成(多言語)

➡ 生活ルールに関する動画を多言語で作成する

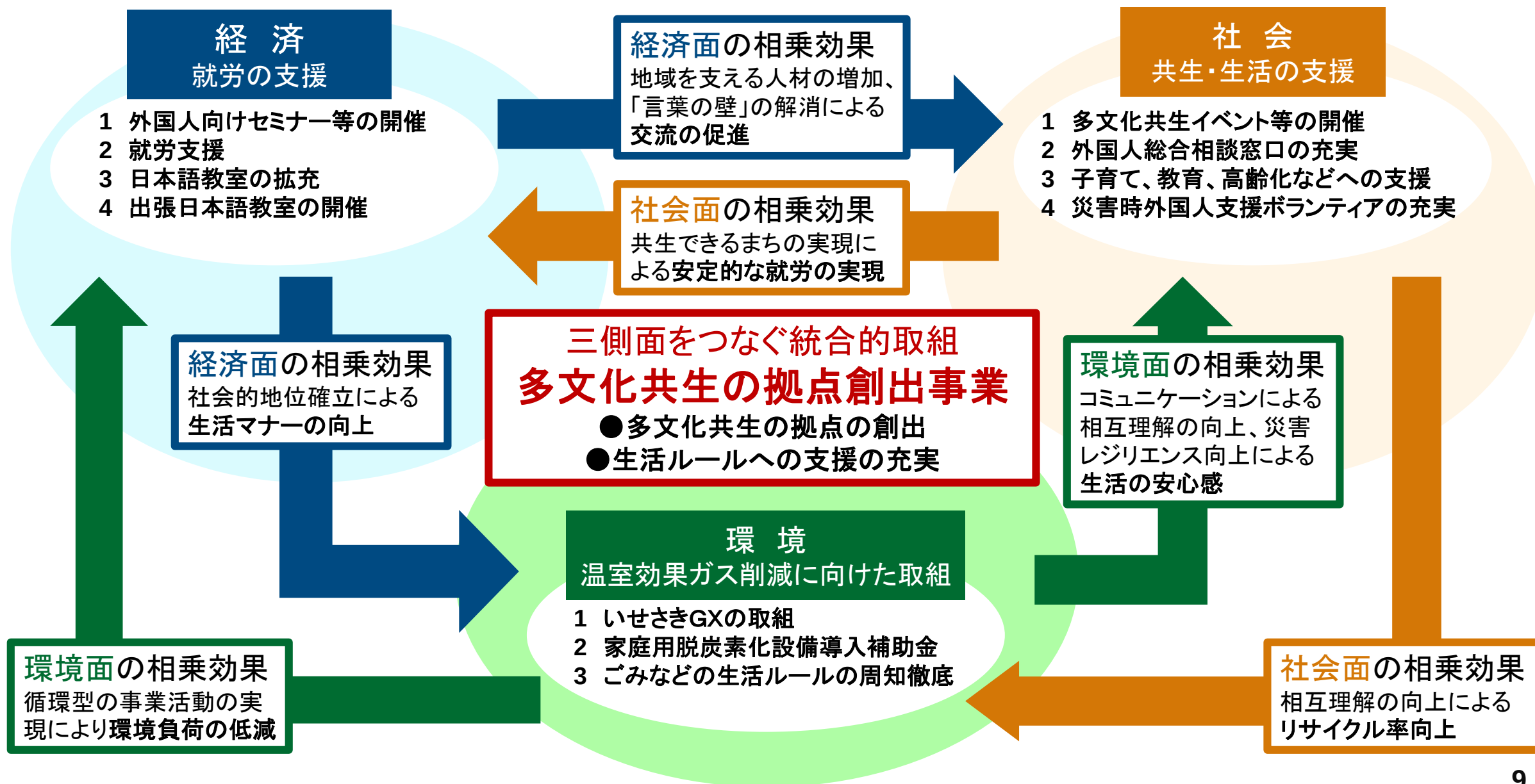


転入時の手続きの待ち時間等を利用して、生活ルールに関する多言語動画をタブレット端末で視聴し、理解してもらう



ステークホルダーとの連携・協力を促進させながら、経済・社会・環境の三側面を循環する地域モデルを実現させる

統合的取組によって生じる相乗効果



自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

多文化共生の拠点創出事業

経 済

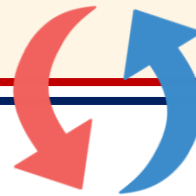
- ◆外国人の就労環境の充実
外国人向けセミナー等の開催
就労支援
- ◆外国人が活躍できる環境づくり
日本語教室の拡充
出張日本語教室の開催

社 会

- ◆お互いを尊重する社会の実現
多文化共生イベント等の開催
外国人総合相談窓口の充実
子育て、教育、高齢化などへの支援
- ◆災害レジリエンスの向上
災害時外国人支援ボランティアの充実

環 境

- ◆いせさきGXの推進
生活ルールの動画の視聴
ごみについての生活オリエンテーション
- ◆エネルギーの地産地消の推進
家庭用脱炭素化設備導入補助金



将来的な自走に向けた取組

- ◆多文化共生の拠点から、地域のキーパーソンや各国のコミュニティが自発的に行動を起こし、日本に対する理解を同国の人々に広げてもらう
- ◆包括的な支援を受けた外国人が、地域で苦慮している外国人に対して、自主的に相談などを行う人材として活躍する